

1 開会の挨拶(会長)

2 協議(進行：会長)

(1) 1学期後半の子供たちの様子について

①校長からの説明

- ・教育課程・行事に関して
- ・児童生徒の学校生活に関して
- ・児童生徒の学習状況に関して
- ・児童生徒の活躍
- ・「地域に開かれた学校」を目指して

②主な質問と意見

質問 ・学力については市内で差があるのか。

→平均を上回っている学校もある。

・弁論大会に6年生が参加した意図は。

→義務教育学校では6年生が育ちづらい環境にある。ともすると落ち着かない集団になる可能性もある。6年生と中一の精神年齢が近い。義務教育学校としての4、3、2制を生かし、伸びしろをもって取り組ませる。

・送迎されて登下校するは多くなっているのか。

→近隣の子どもは徒歩で登下校している。

・スクールバスの利用率は バス通学対象地域なのに申請していない家庭はどのくらいあるのか。

→登録はほぼされている。時刻によって乗車が少ない便もある。

意見 ・学校が落ち着いているようである。いじめ事案について報告書の簡素化で迅速に対応できる。迅速な対応で関係機関ともつながり対応がよくなる。

・幼稚園でできたことを引き継いでやるようにし、また、小中でのつながりを意識して指導する。

・学習ボランティアとして、ミシン、スポーツテスト、電動糸のこぎりなどは保護者の協力がとても効果的である。

(2) グループ協議(熟議) テーマ「教育に地域をどう生かすか」

A グループ

・主な話題 金成の良さを子供たちに伝える機会 地域と学校のつながり

B グループ

・主な話題 スポーツの交流 環境教育 食育 登下校の見守り

C グループ

・主な話題 地域を知ることによる人材育成 発表会へ指導者を招待
挨拶を交わすことによる防犯対策

3 閉会の挨拶(副会長)